

Leader
001

宮城県

福井 大輔 (ふくい・だいすけ)

株式会社未来企画
小規模多機能ホーム福ちゃんの家 / アンダンチ
代表取締役幸せな最期を
もつと当たり前前に

なければならない部分が多いが、もつとサービスマンや地域でサポートして楽しく幸せに過ごせないだろうか、幸せな最期をもつと当たり前前になりたいと思うようになった。

また大学3年時に約半年間のケニアインターン留学を経験した。

父方の祖母は大学2年の時、脳梗塞で急死した。残された祖父は、青森市内の自宅に一人暮らしになっていた。最期は廊下で倒れて亡くなっているところをヘルパーさんが見つけてくれた。

嫁方の祖父は肺がんだったが、最期は自宅で家族や孫に囲まれ看取られた。

そのような体験もあり、家族でな

ケニアではスラム街にも行き、普通に生きるだけでも大変な厳しい環境を目の当たりにした。スラムにある小学校では、生徒たちと話をし、両親ともに亡くしている子どもも少なく、壮絶な人生にショックを受け、それでも笑顔で生きる子どもたちの強さに触れた。「生きるとは」「幸せとは」「豊かさは」「等、深く考えさせられる経験が今も確かに繋がっている。

Leader
002

茨城県

木村 敦至 (きむら・あつし)

社会福祉法人愛の会
ケアハウスハートピア石岡
施設長園児と親を安心させた
ある日の理事長の行動

急に夜勤となり、わが家に泊めたのです。当時は夜遅くまでお子様を預かる園も少なく、19時過ぎまで対応していた当園はそれだけでもありがたいが、たがられていたと思います。しかし、さすがに連れて帰ってきたことには驚きました。その子はぐずすることもなく、小学生だった私と適当に遊んで一晩過ごしました。

四半世紀近く高齢者介護の世界にいとエピソードや体験談も多すぎて、どれが一番とは選びきれません。しかし、間違いなく自分の福祉に対する思いの原点となっているのは当法人の理事長、私の父の行動です。約40年前、理事長は認可外保育園を経営していました。ある時、理事長は園児を連れて自宅に帰ってきた。看護師であるその子の母親が

「目の前に困っている人がいたら助ける」ということ、「目の前の人を安心させる」ということ。これは介護の仕事をする上で絶対に必要な思いと行動です。困っている親を助け、その子を安心させた理事長の行動は、私の介護業界での仕事、いや普段の生活においても、常に心に残っているエピソードです。

Leader
003

埼玉県

小金澤 智草 (こがねざわ・ちくさ)

株式会社ワイグッドケア
人財育成課

相手を思いやる言葉 教えてくれたAさんの爪楊枝

私の介護原点は、相手を思いやる心と言葉です。

仕事の関係で私は月に1、2回ある施設を訪ねています。ある日、ハンチング帽子をかぶったAさんが廊下を歩いていました。認知症がありますが、とてもおしゃやかな男性です。しかし、今日のAさんは□元に爪楊枝をくわえています。施設のスタッフは「いくら注意をしてもやめてくれないんですよ……危ないのにー」。



私はいつものようにAさんに挨拶し、いつものように何気ない会

話をしていました。その途中で、「いつも帽子をかぶって素敵ですよ。今日は爪楊枝をくわえているので、ちよっとびくりしました。いつもおの紳士的なAさんに見えなかったのです」。

そう話すと、「そうか?」と言ってその場を去ってしまいました。数分後、爪楊枝をくわえていないAさんが戻ってきて、私の隣に笑顔で座りました。「やっぱりAさんは素敵ですね」と伝えると、満面の笑みを返してくれました。

同じ言葉でも、言い方一つで相手を笑顔にさせたり、鬼にさせたりします。どんな場合でも相手を思いやる言葉かけや行動が、良い介護へとつながっていくと思います。

Leader
004

埼玉県

森茂樹 (もり・しげき)

社会福祉法人光彩会
特別養護老人ホームみちみち伊奈中央
副施設長兼介護主任

平和の大切さ、 戦後の復興への敬意と感謝



介護の仕事が始めて、1年を過ぎた頃の話です。

当時の私は、友だちのように入居者に接することができ、オムツ交換、食事介助、入浴介助が早くできることが、「仕事のできる介護職」だと思っただけでした。利用者様により良い介護をしよう、という考えとはほど遠く、先輩職員に認めてもらいたいという気持ち、ただその一心でした。

そんなある日、女性の入居者様が

戦争の体験談を聞かせてくれたのです。空襲で友人を失い、食べる物もない。平和ということが、どれほど幸せなのか……。その時、今こうして不自由なく過ごしているのは戦争を体験された方々が平和を願い、必死に復興してくれたおかげなのだ気づかせてくれました。

私はそんな方々にどれだけ失礼な態度で接していたのかと恥ずかしくなりました。それからは、今の平和のために必死に復興に力を注いでくださった方に敬いの気持ちをこめて、より良い生活を送っていただける介護をしようと考えようになりました。

その気持ちは今も変わらず、私の介護の原点です。

Leader
005

北海道

秋本真希(あきもと・まき)

社会福祉法人豊生会
特別養護老人ホームひかりの
フロアマネージャー

後輩を励ますような存在でいたい

社会人1年目の時、ケアがうまくいかず怒られるばかりの苦手な利用者様がありました。見かねた先輩に声をかけられ、仕事を辞めようと思っていたことを伝えたら、「一人とうまくいかなくて辞めるのは違うと思う。他の人には好かれているのだから自信を持ちなさい。私はこれからも一緒に働きたいよ」と言われました。1年目の私に対し励ましてくれた先輩の言葉は今も胸に残っています。私も後輩に対しそういう存在でいたいと常に思っています。

Leader
006

北海道

石川輝文(いしかわ・てるふみ)

株式会社元気な介護
小規模多機能型居宅介護くらしさ八軒
所長

改善・改良の手を緩めずに進みたい

元々介護とは無縁でしたが2010年頃に社会福祉総合センターで働き同じ建物内のディサービス職員と仲良くなり介護に共感、2年後に前職の会社に就職しました。最初のグループで経験豊かな管理者と、特養経験者のケアマネジャーに指導を受け仕事の厳しさ、楽しさを学びました。その後の施設でも尊敬できる、勉強になる方がいる反面不適切ケア、お客様意識がない対応等、シヨックを受けます。受けることはありますが、一つ一つ改善、改良していきたいきます。

Leader
007

北海道

鈴木健太郎(すずきけんたろう)

医療法人歓生会
介護老人保健施設フェニックス
看護介護課介護係長

地域のかかりつけ老健をめざす

「ONE TEAM」はラグビー日本代表を一つにするためのキャッチフレーズで、多くの人が共感しました。昨今は人材不足が課題で、当施設も職員は疲弊し、チームはバラバラに。そこで職員と面談し、敬意と感謝の気持ちを持つことを伝えました。今は人材不足で悩んでいません。私たちに、規律、役割、チームワークが不可欠。時にぶつかり、支え合いながら目標に進むチームをつくり、



全ての人が幸せになる地域のかかりつけ老健を目標に歩みます。

Leader
008

北海道

高嶋成泰(たかしま・あきひろ)

株式会社ファミリーケアサポート
リハビリテーション 札幌札幌桑園
管理者

「決してあきらめない」がモットー

「スラムダンク」で安西先生が言った「あきらめたらそこで試合終了ですよ」は、この世界でもその通りだと実感しています。年若い病氣になり、色々ときらめてしまう利用者様とお会いしますが、しっかりと話を伺うと「実は…」と本音で語ってくれます。その想いを共有し、一緒に進んでいければ必ずや道はあると信じています。「決してあきらめるな」「常識や普通といった狭い世界に囚われるな」をモットーにこれからも取り組みます！



世界に囚われるな」をモットーにこれからも取り組みます！

Leader
009

埼玉県

原昌弘 (はら・まさひろ)

株式会社市進ケアサービス
いろどりの里 日高
施設長

退職届を破棄させた 通所介護の現場体験



真剣に「馬鹿」
をやっ
てい
た。
他利用者の
お話をし
てい
るA様。満
面の笑みで

やりたいのかもわからず、ふわふわした気持ちで介護をしていた。特養に退職届を出していた自分に、面識の薄い通所介護のO主任が突然声をかけてくれた。「お前は絶対に熱い人間だ。お前が納涼祭で必死に準備をしていたことを俺は知っている。辞める前に通所介護を見てみる」と誘ってくれた。1日だけ時間をもらい、現場体験をした。そこは正職員もパートも関係なく、目の前の利用者様に真剣に「馬鹿」をやっけていた。活が充実していると思っていたら「自宅では誰も話してくれない」と送迎車でO主任が教えてくれた。「元々はここにだって来たがらなかったし、レクへの参加すらなかったよ。パートナーたちがどれだけでもあましたか(笑)」。翌日、通所介護への異動希望を出し、退職届は破棄してもらった。明日、何かしらの理由でもうここに来られない利用者さんがいるかもしれない。もっとあおしておけば良かったって、どれだけ頑張ったって後悔する。それでも手を抜けるなら介護は向かないよ。辞めれば(うしろ)

あの日があつたから、私は介護に一生懸命になった。一人でも多く、「まだまだ死にたくない」と思える毎日をこれからもつくり続けたい。

Leader
010

埼玉県

齊藤敬介 (さいとう・けいすけ)

社会福祉法人よし乃郷
雰囲気はわが家と同じよし乃郷
介護課長

できる人が、できる時に、 できるように



よつ」と励
ましの言葉
が心の支えと
なったほか、
仲間の大切さ
や自分も何か

13年前、法人理事長の人柄とその理念に感銘を受け、右も左もわからないままこの業界に飛び込みました。しかし、実際の介護現場において利用者が満足し、生活を送れる支援が思うようにできなくなり、迷い、自信がなくなる時もありました。一人ひとりの人生はとても深く介護職員一人にはとても支えられないもの。その無力さに打ち砕かれそうになるたびに、「できる人が、できる時に、できるよつ」と励ましの言葉が心の支えとなったほか、仲間の大切さや自分も何か

に役立っていることが徐々に実感できるようになったことから、牛歩のごとくですが前に進めていると思います。法人の支援もあつて介護福祉士と介護支援専門員を取得することができました。現在はこれまでの経験と取得した資格を活かし、施設ケアプランの作成や介護現場で職員を指導する立場で働いています。今、地域社会は大きな変化を迎えています。こんな時こそ「できる人が、できる時に、できるよつ」と、この言葉のように介護従事者だけでなく、地域の方々が互いに支え合い協働して、ときがわ町の方々が「こんな町に住んでよかった」と思える介護施設づくりに邁進していきたいと思っています。

Leader
011

北海道

波潟 幸敏 (なみがた・ゆきとし)

社会福祉法人さつき会
特別養護老人ホーム鷹栖さつき苑
常務理事・施設長

目の前のニーズに
応えるのがミッション

ある朝方、廊下で床をかきむしり私を凝視する入居者様がありました。その時に、自宅と落差がある施設のケアと環境を変革しようと思いつき、仲間とともにユニットケアを試みました。結果、笑顔と元気を取り戻す姿を通じて、自分たちの考え方・ケア技術・仕組みの未熟さを自省。それが、グループホーム、小多機、住民参加型地域包括ケアの実践へとつながっています。目の前のニーズに応えるのがミッ



ションであり、仲間たちとチャレンジし続けます。

Leader
012

北海道

三浦 航平 (みづら・こうへい)

医療法人やわらぎ
介護老人保健施設ゆう
副施設長

スタッフの良いところを
見つけより良いケアにつなげる

介護の業界に入り17年。最初は通所リハビリテーションでレクリエーション等、その後は老健に入り多職種協働で在宅復帰の支援に携わりました。時にはぶつかり合いながらも、最善のケアのために必要だと思いついてきました。現在は事務業務が主ですが、定期的に食事介助や入浴介助等にも入り、職員の雰囲気や利用者様の表情など観察する事を大切にしております。スタッフの良いところを見



出し、より良いケアに繋げていく事が自分の役割です。

Leader
013

宮城県

橋本 大吾 (はしもと・だいご)

一般社団法人りぶらす
代表理事

質の高いサービス、
予防「コミュニティ」で地域に貢献

東日本大震災を機に、仮設住宅へ奥様とともに入居した70代の男性。震災前は普通に畑仕事をしていたのが入居後に歩行能力が低下。転倒を繰り返すようになりました。私たちの支援や介護保険サービスを使っていたのですが、状態は悪化し、やがて病院でお亡くなりになりました。自分たちの無力さを感じたケースで、これを機に要介護になっても改善できる質の高いサービスや、専門家と住民



とともにコミュニティをつくることを考え、実践を始めました。

Leader
014

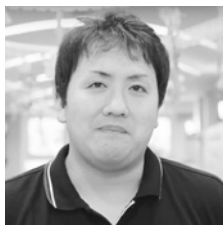
宮城県

力丸 久敏 (りきまる・ひさとし)

社会福祉法人青葉福祉会
特別養護老人ホーム アルティール青葉
介護長

ご利用者様の一言が
やる気を奮い立たせる

入社1年目の夏の夜勤中。Tさんの全身清拭をしながら「疲れたな。何でこんなことしているんだ」「辞めたいな」などと考えていました。すると、普段は会話が続きが気性の荒いTさんが「いつもありがとね。こういう仕事はみんなができることじゃない。あんただからできるんだからね」と微笑みながら話してくれました。いつもと様子の違うTさんの素の一面を見た喜びと、純粋に



素敵なことを言っていた。ただ嬉しかったのを今でも覚えてます。

Leader
015

東京都

白石直美 (しらしい・なおみ)

ケアバンクシステムズ株式会社
講師

亡き祖母の 「お小遣いちょうだい」

「お小遣いちょうだい」。小学5年生の私に祖母が何度も手のひらを差し出してきました。しばらく何も言えなかったことを覚えています。とっさに出たセリフは「後でね」。その時は何にも感じませんでした。その祖母が他界し、私も子どもを育てる母となりました。ある日、道の真ん中でマンションをじつと見上げているお婆さんがいました。「どうされましたか？」と声をかけると、真顔で「ここに住んでいた気がするけど…」と、とにかく自宅に帰してあげようと、マンションのインターフォンを片っ端から押して歩きました。不安そうなお婆さんに「大丈夫です。帰れますよ」と言うと、笑顔で「ありがと」と交番まですずっと私の手を離さないお婆さん。交番に届けが出ていたので、無事に帰宅できました。

その時、思い出したのです。「後でね」という言葉を祖母は忘れていたのか。それとも覚えていて、お小遣いを待っていたのか……。その答えはわかりませんが、確かなことは今日のお婆さんはずっと不安であり、誰かがそばにいただけで笑顔になると知ったこと。「大切なことを教えてもらえた。この思いを伝えていきたい」という気持ちが芽生えました。これが私の福祉の原点です。



真顔で「ここに住んでいた気がするけど…」と、とにかく自宅に帰してあげようと、マンション

のインターフォンを片っ端から押して歩きました。不安そうなお婆さんに「大丈夫です。帰れますよ」と言うと、笑顔で「ありがと」と交番まですずっと私の手を離さないお婆さん。交番に届けが出ていたので、無事に帰宅できました。

その時、思い出したのです。「後でね」という言葉を祖母は忘れていたのか。それとも覚えていて、お小遣いを待っていたのか……。その答えはわかりませんが、確かなことは今日のお婆さんはずっと不安であり、誰かがそばにいただけで笑顔になると知ったこと。「大切なことを教えてもらえた。この思いを伝えていきたい」という気持ちが芽生えました。これが私の福祉の原点です。

Leader
016

東京都

星倉裕文 (ほしくら・ひろふみ)

株式会社Wii-Age
事業推進部長

病院勤務時は見えなかった 退院後の生活の場面

理学療法士の養成校を卒業後に就職した総合病院では、患者さんの退院後の生活を知ることが少なかったのですが、在宅分野に移ってからは実際の生活の場面にたくさんかかわれます。

病院では「脳梗塞のAさん」が、在宅では「Aさんが脳梗塞を発症した」という認識になり、その方の人生に関わっている責任も感じています。これまでどのような歴史があつて、これからどう過していくのか。身体や動作のことで、けでなくその方の趣味や目標を共有して日々の関わりを大切にしていきます。

脳梗塞発症後3年経過した男性を担当した時のこと。「身の回りの世話をしてくれた奥さんにお礼がしたい」と相談され、主治医や関係職種に了承を得て、バスを利用した外出練習を企画しました。駅まで行つて喫茶店に寄つてから帰宅するという内容でしたが、実はサプライズで奥様にハンカチを買いに行つたのです。帰宅して奥様へ渡すタイミングで、泣かせるつもりだったのにご本人が先に泣いてしまい感謝の言葉を伝えられず、笑顔で奥様が入れる、そんな微笑ましい光景が経験できる在宅分野にやりがいを感じています。

今はマネジメントの立場ですが、スタッフには良い関わりをたくさん経験してほしいと思っています。



理学療法士の養成校を卒業後に就職した総合病院では、患者さんの退院後の生活を知ることが少なかったのですが、在宅分野に移ってからは実際の生活の場面にたくさんかかわれます。

脳梗塞発症後3年経過した男性を担当した時のこと。「身の回りの世話をしてくれた奥さんにお礼がしたい」と相談され、主治医や関係職種に了承を得て、バスを利用した外出練習を企画しました。駅まで行つて喫茶店に寄つてから帰宅するという内容でしたが、実はサプライズで奥様にハンカチを買いに行つたのです。帰宅して奥様へ渡すタイミングで、泣かせるつもりだったのにご本人が先に泣いてしまい感謝の言葉を伝えられず、笑顔で奥様が入れる、そんな微笑ましい光景が経験できる在宅分野にやりがいを感じています。

今はマネジメントの立場ですが、スタッフには良い関わりをたくさん経験してほしいと思っています。



「人が、すべて」だと考えています。

13年前に鉄道会社から特養のケアワーカーに転職。当初は属人的な業務のあり方や伝え方に戸惑ったのを覚えています。同時に「人を基軸に成り立つこの業界に大きな伸びしろがあることも確信しました。この経験が私に、介護という究極的なサービス業においては、採用と教育（＝ビジョンの具体化と共有）がいかに大切かを気づかせてくれました。経営を預かるようになった今でも、「すべて、人から」であり「人が、すべて」だと考えています。

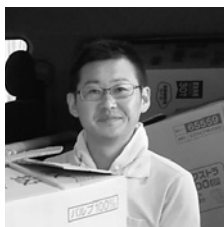
Leader
017

群馬県

八木大輔 (やぎ・だいすけ)

社会福祉法人しんまち元氣村
法人本部 事務局長代理

「人が、すべて、人から」



社会福祉事業家をめざし、日々福祉介護に向き合っています。

私が福祉の業界に入り、無我夢中で介護の仕事を諸先輩方から学ぶなか、2011年に内部留保問題が起きました。社会福祉法人側からは否定も弁明もできず混乱していたおりに、ある方の講演にて「我々、社会福祉法人は社会福祉事業家として再起する必要がある」と明確な答えを内部留保の問題が起ころ前からお持ちの方がいらつしやり、とても感銘を受けました。私も自分なりの

Leader
018

茨城県

小岩井一博 (こいわい・かずひろ)

社会福祉法人すけま会
軽費老人ホーム ニュー鹿島
経営企画部 課長付

社会福祉事業家を目指し 福祉介護に向き合う



の職種の存在意義を考えたながら、日々の業務に向き合っています。

仕事を始めた当初、地元の外資系の友人から言われた言葉が、いまでも心に残っています。「介護や福祉って、なんの生産価値もない人たちに税金を使うことでしょう。理解はできるけど、納得できない」という内容で、とても衝撃を受けました。それと同時に、自分自身の仕事に対する価値や意義を常に問い、目の前のご利用者様に向き合い続ける原点にもなりました。今もその答えと自分の

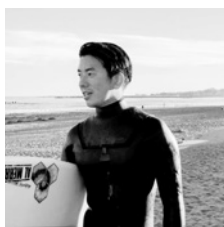
Leader
019

東京都

金山峰之 (かなやま・たかゆき)

株式会社ケアワーク弥生
課長

介護職の存在意義を 考えながら仕事に向き合う



言葉が自信になり、今日までの仕事の原点になっていきます。

20代前半の頃、フロアリーダーを務めていた時の話です。年齢も職歴も異なる職員と働くなか、先輩方の意見に押され自分の考えを出す事に悩んでいた時期がありました。主任に相談すると「あなたの考えは基本的に間違っていないと思うから、リーダーを任せている。ご利用者のためにお願いますって頭を下げたらいいんだよ」とアドバイスを頂きました。その「ご利用者のため」の

Leader
020

千葉県

鈴木邦明 (すずき・くにあき)

社会福祉法人太陽会
特別養護老人ホームめぐみの里
介護管理室主任

「ご利用者のため」が 介護の原点

Leader
021

東京都

森
るみこ(もり・るみこ)

社会福祉法人仁生社
水元園
介護長

中学生の時に見た 介護する母の姿



中学生の時、祖母が寝たきりになりました。祖母の住まいは神奈川県三浦市にあり、長男夫婦が面倒を見ていました。

私が見た祖母の姿は、元気な頃と違ってやせ細り、水も飲ませてもらえていなかった様子で声も出ず、はいつくばりながらやっとの思いで洗面所にたどり着き、水を飲んでいた姿を覚えています。

その光景を見た私の母は、「自分の家に連れて行く」と直訴しましたが、受け入れてもらえませんでした。話し合いの末、母が長男宅に泊まり込んで介護することになりました。

私は3人兄妹の末っ子で、当時中学生でした。母の思いがよくわかったので、その期間は自分の家の家事をほぼすべて、私がこなしました。

母の介護もむなく、間もなく祖母は亡くなりましたが、少しでも母が介護できたことは、祖母にとっても幸せだったのではないかと思います。

30年以上も前の話ですが、当時のことは今でも思い出されます。今思うと、その出来事が私の介護の原点であると感じます。

Leader
022

千葉県

高橋
悟(たかはし・さとる)

社会福祉法人南生会
特別養護老人ホーム 南生苑
副施設長

介護職は人の生涯に携わる 素晴らしい仕事

介護の仕事をするようになり、特に印象に残っているエピソードという、私が特別養護老人ホームの生活相談員をしていた時に経験したことです。

あるご利用者様を施設で看取った際、ご家族の方から、「この施設で最期を迎えることができ、本人も幸せだったと思います。家で亡くなるよりも良かったです」とおっしゃっていたいただきました。

その言葉を聞いた時に、介護はご利用者様の生涯に携わる素晴らしい仕事であると、あらためて実感しました。

今もその気持ちを大事にして、仕事に従事しています。

Leader
023

千葉県

平野
幸一(ひらの・こういち)

社会福祉法人焔徳会
特別養護老人ホームとろろき一倫荘
施設長

勤務初日の出来事が 20年間の職歴をつくった

20代半ばまでは将来が定まらず半ば遊んでいましたが、落ち着いた生活を望み、介護福祉士の資格を取り業界に飛び込みました。潔癖症なので高齢者のお世話ができるか不安もある中、勤務初日に衝撃的な出来事がある中、勤務初日の叫び声がトイレから聞こえ駆け付けると、トイレ介助中にズボンを下げた瞬間に、その女性はあるモノを見事にキャッチ。このような現場に遭遇したのは人生初



で、その日を境に20年近く働いているのが、私のルーツです。

Leader
024

佐賀県

佐伯美智子(さいき・みちこ)

合同会社MUKU
代表 自由人

介護は「できる」を 引き出す奥深い仕事

作業療法士として働き始めた頃、介護は簡単な仕事だと思っていました。確かにリハビリをした瞬間は良くなったように見えます。ところが部屋に戻ると、危ないからと歩くことはおろか座ることさえ許されず生活空間はベッド上だけということも、そこで痛感したのは、誰もがその人らしく生きるために必要なことは違い、丁寧に関わって初めてわかるのです。介護はできないことを手伝うの

ではなく、
できるを引
き出す奥深
い仕事だと
今は思っ
ています。

Leader
025

埼玉県

田中祐美子(たなか・ゆみこ)

社会福祉法人桐和会 特別養護老人ホーム川口さくら杜
介護統括主任兼事業支援部
介護統括責任者

最期までどう寄り添うかを 考えたい

私には「施設でお看取りする」という想いがあります。ある方とは、「最期(最期まで面倒見てね)」という約束を交わし、6年後の今年にお看取りとなりました。私は異動しましたが連絡が入ると会いに行き、「大丈夫だからねと声を掛けると」来てくれて良かった」とお話することができ、2日後にお亡くなりになりました。約束を守れたことに感謝しています。私たち介護士が入居者様の最

期の時まで
どう寄り添
うかを考え
る大切さを
伝えたいと
思います。

Leader
026

東京都

砂金洋介(いさぎ・ようすけ)

株式会社アズパートナーズ
アズハイム練馬ガーデン
ホーム長

感情職業だからこそ 人間力を磨きたい

アルバイト時代に80代の方と話すようになり、「高齢者との会話は楽しい」という気持ちが芽生え、介護職に関心を持ちました。調べると「JK」「低賃金」というワードに二の足を踏みました。やはりこの仕事だと決断しました。今でも忘れられず、自分を形成する「根幹」です。スタッフには、決めたことや感じた瞬間の感情を大事にするよう伝えていきます。この仕事は「感情職業」とも言われて

いますので
これからは
担当の方
は人間力を
磨いて欲しい
です。

Leader
027

東京都

小川力信(おがわ・りきのぶ)

一般財団法人天誠会
介護老人保健施設 小金井あんず苑
副施設長

「今をいかに大切に するか」がスタンス

新人だった時、忙しくてカラオケのデュエットを受け流したご利用者様があり、その方は翌日に容体が急変しお亡くなりになりました。後悔とともに、「昨日まで元気だった人が亡くなる」「ここに居るのは死と隣り合わせの人たち」と思い知りました。以降はどれだけ忙しくても、ご利用者様のひと言はその日のうちに叶えるという覚悟です。「今をいかに大切にするか」願いを叶えるには

どうすべき
か」を考え
るように、
仕事のスタ
ンスが変わ
りました。

Leader
028

東京都

若山 克彦 (わかやま・かつひこ)

株式会社 HANALAB
代表取締役

笑顔で自分も周りも 明るく照らす



その後、社会人となり4年半ほど
営業の仕事をしていました。

毎日毎日ノルマに追われ、身も心
もボロボロになり、逃げるように営
業会社を辞めて就職活動をしてい
た時のこと。母親の親友がたまたま
ホームヘルパーをしていて、介護の
仕事を紹介されたのです。それが
介護の仕事を始めたきっかけです。
ちょうど2000年、介護保険が始
まった年の冬でした。

介護の仕事を通して、心のどこか
であの時の後悔を少しでも埋めたい
と思っているのかもしれない。

尊敬する父が教えてくれた「笑顔
は自分も周りも幸せにする」。その
精神で介護の世界を明るく照らせる
人になりたいと思います。

今から25年前ですが、尊敬する父
がガンで他界しました。

私は何もできませんでした。
自宅でも、入院した病院でも、私
は父に何もできませんでした。

その時の自分の無力感や、もつと
父親に何かできたのではないかと思
う後悔の気持ちが、ずっと自分の中
にありました。心が消化不良のまま、
月日が流れていました。

Leader
029

東京都

我堂 佳世 (がどう・かよ)

ライクケア株式会社
代表取締役社長

介護は日本が 世界に誇る事業

学生時代、三者面談で教師から「こ
の成績では介護の専門学校にしかい
けない」と言われましたが、社会に
必要とされる業界への言葉ではない
と違和感を覚えました。隣にいた母
も同じで、「選ぶ道を周りが評価す
るものではない」と強く意思表示し
ました。母と弟は異業種から福祉業
界に転職し、私も介護事業をモノづ
くりにも匹敵する日本が世界に誇れ
る事業と認識し、就労人口の増加と



サービスの向上に
質の向上に
注力するこ
とになった
のは不思議
な縁です。

Leader
030

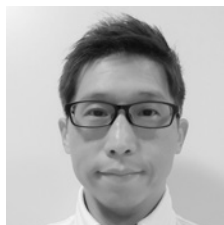
東京都

金山 豊 (かなやま・ゆたか)

社会福祉法人合掌苑
合掌苑翠の杜
統括リーダー

思いをくみ取った 介護が大切

訪問入浴サービスに伺った時のこ
と。ご利用者様は「口に衰弱し、
様子を見てみると次回は来ないかもし
れない」と思えるほど。ご家族様や看
護師と相談して、できる範囲でご入
浴いただきました。その方は次を待
たずに亡くなりましたが、ご家族様
からは「きれいな身体で最期を迎え
られた」との言葉。介護は人と相
対する仕事だからこそ、本人やご家
族様が何を思い、大切にされている



か等を汲み
取り、介護
に反映させ
るかを考え
ることが大
切です。



菊池 真 (きくち まこと)

株式会社トラスト・ホープ
代表取締役

Leader
031

東京都

人生の先輩に 恩返しができる仕事

特に興味もなく始めた介護職ですが、現場を体験するうちに、奥深さ、難しさに直面しました。「もう辞めよう」と思う日々でしたが、「ありがとう」の一言をいただいた時に全身に流れた電気のような衝撃は、何年たっても忘れられません。人生の大先輩に恩返しができるのもこの業界ならではの、そう考えたら全てが変わったように思います。あの時の衝撃・考え方の変化をこの先も忘れ

ず、これから頑張ってく方々に伝え・感じてもらいたいです。



櫻井 省吾 (さくらい しょうご)

株式会社学研コソファン
コソファン練馬関町
事業所長

Leader
032

東京都

祖母孝行をきっかけに 介護職に

歌が得意で将来は音楽の道にと考えていましたが、大学3年の時にどの病気になり夢が途絶えることに。同じ頃に、祖母が脳梗塞のため身体が不自由になりました。改めてやりたい仕事を考えた末にたどりついたのは「祖母の支えになり孝行したい」。高専(当時)のバイト募集に迷うことなく応募して、大学を辞めて介護の世界にのめり込んで、現在に至ります。所長として定着率向上や「学研版地域包括ケアシステム」の構築に挑戦していきます。

版地域包括ケアシステム」の構築に挑戦していきます。



下別府 知広 (しもべつ ともひろ)

社会福祉法人北野会
グループホームマイライフ徳丸
管理者

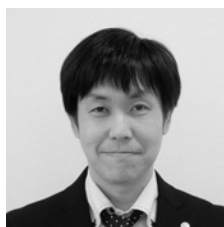
Leader
033

東京都

ご利用者様やご家族の 言葉が今の支え

重度の認知症の方から突然「ありがとう、あなた達のこと大好きだから」と言われたこと。お看取りをした方のご家族からいただいた、「認知症の母と自宅で暮らしている頃は、正直母の事が嫌いでした。でもグループホームに入ってからお互い生活が落ち着き、最後は大好きな母として看取ることが出来ました」という言葉。この2つの言葉は私達のやってきたことが間違っていないか、たと感じる

たと感じるこのできごとのできた瞬間で、今も私を支えてくれています。



鷹野 賢一 (たかの けんいち)

社会福祉法人誠会
特別養護老人ホーム偕楽園ホーム
副施設長

Leader
034

東京都

失敗の中の後悔や 怖さが原点

介護はうまくいくことよりも失敗することのほうが多い仕事です。例えば「ご利用者に怪我を負わせた時、その方だけではなく他のご利用者に対しても同じことが起きないようにするケア(間接的な予防策)をつなげて考えることが重要です。大きな失敗の中で、失敗したことを身にしみてと思える体験が成長の第一歩。一つの体験からいくつもの価値を見出せることを伝えたいと思います。失敗の中の悔

悔しさや怖さなどが原点になっていく気がします。

Leader
035

静岡県

宇田川 智子（うたがわ・ともこ）

株式会社アイケア
代表取締役

思い込みを減らす コミュニケーション



私の曾祖母が大正5（1916）年に、「遠江看護婦会」を開設し、同時に「浜松看護婦養成所」を立ち上げ、看護婦の養成を始めたと聞いています。物心がつく頃には祖母の家は「看護婦家政婦紹介所」で、看護や介護が自然にありました。平成3（91）年には父が「これからは介護である」と考えて介護の会社を立ち上げ、現在私が継いでいます。

私自身は長年ヘルパーの養成事業に関わってきているので、高齢者だけでなく幅広い世代の方々と交流させてもらっています。

私は相手がどんな方であろうと学びの対象だと思っています。そして、できるだけ相手を理解しようと思つてではなく（質問をぶつけていくコミュニケーションになりがち）、相手にとって私は理解者であると思つてもらえるようにと接しています。そう思うと必然的に一生懸命話を聴くようになり、相手の背景とか人生を知ろうとするコミュニケーションのとり方になります（寄り添い話を聴くコミュニケーション）。

私たちは自身の基準で判断しがちです。少しでもズレをなくするために思い込みを減らすコミュニケーションを大切にしています。

Leader
036

東京都

竹谷 哲（たけや・あきら）

社会福祉法人正吉福祉会
杜の風・上原
在宅サービスグループマネージャー

自立支援ケアの体験が 介護への意識を変えた



今でも自身の根幹は自立支援ケアを実施したことにあります。

介護の仕事を始めた当初は朝から晩までのおむつ交換に対して、「こつこつもの」と考えていました。しかし、2004年の中越地震のボランティアに参加した時に現職が取り組む「自立支援ケア」に出会い07年に転職。特養で実施したところ、翌年には「日中おむつゼロ」を達成しました。「介護（生活支援）の力でこんなにも高齢者が元気になっていく」という体験を数多くしてきました。

徳永 潤（とくなが・じゅん）

株式会社アイエヌシー 健康と癒しの空間DHCミルゲード
（DHCミルゲード高平店）
介護事業部 係長 高平幸店管理書

仕事を通じて 親孝行をしたい



じて親孝行をする。という軸である一つにながっています。

祖母から愛情を受けて育ち、社会人になってからは、一時期祖母の家に住み込みながら出勤していました。いまでも平日休みのほとんどは祖母の家へ行き、一緒に運動も含めて外食に出かける日々を過ごしています。そんな中、共に過ごしながら、喜んでもらうにはどうしたら良いのだろうかと考えながら行動したことが、目の前のご利用者にも通じると感じるがあります。仕事を通じて親孝行をする。という軸である一つにながっています。

Leader
038

東京都

寺内 正徳 (てらうち・まさのり)

株式会社ユニマット リタイアメント・コミュニティ
事業統括本部 人事戦略推進本部
部長

看取り介護は「生きざるための支援」

食事制限があり主治医から余命宣告を受けていた方から、「餃子をどうしても食べたい」という希望があり、「ご家族様等にも理解が得られ、餃子を食べていただくこと」。泣きながら笑顔で「美味しい」と喜びになり、数日後にご逝去されましたが、あの時の笑顔は今でも覚えています。看取り介護は決して、死のカウントダウンではありません。私達は「生きざる支援」として、PRIDEを持ち、最高の介護を提供していきたくと思っています。

Leader
039

東京都

長野 尚也 (ながの・なおや)

株式会社やさしい手
支社長(部長職)

上司から学んだ「人の上に立つ本当の意味」

主任になり初めて部下を持った頃。名ばかりのリーダーで、悪戦苦闘するも空回りの状態でした。そんな時ランチに誘われた上司との会話で一言、上司がこう呟いたのです。「部下は上司を選べない。部下の事を第一に考えない上司のもとにいる部下は可哀想だな」と。私に大事なことを教えてくれようとしたのだと思います。あれから10年、リーダーとして「人の上に立つ本当の意味」を智識ではなく智慧としてつかみ、少しは成長できたかなと思っています。

Leader
040

東京都

中浜 崇之 (なかま・たかゆき)

社会福祉法人慈雲福祉会
特別養護老人ホームグランアークみづほ
施設長

その人の「らしさ」を探り続けることが大切

ある入居者さんの態度や行動から難しい人と見ていましたが、関わりを変えることで印象が大きく変わることがあり、とてつもない学びだと思っています。それは「その人を見ることが大切です。アセスメントシートや日々の関わり、また病気や要介護度など、その人をラベリングして本来の姿が見えなくなる時がありました。知識や経験、技術も大事ですが、いつまでも個人の人間として関わり、その人の「らしさ」を探り続けることが大切です。

Leader
041

神奈川県

井口 健一郎 (いぐち・けんいちろう)

社会福祉法人小田原福祉会 人材開発部長
特別養護老人ホーム潤生園 施設長
介護福祉経営士2級

仲間の言葉で当事者中心の介護の視点に気づいた

同じ時代に同じ大学、同じキャンパスで過ごした織田友理子さん、洋一さんご夫婦との出会い。織田友理子さんは学生時代に遠位型ミオパチーを発症しました。約10年前、介護の仕事をするか悩んでいた際、彼女の「私は当事者として世界を変えていく、井口君は介護の専門家として世界を変えてほしい」との言葉に奮起。今も時には連携しながらそれぞれの立場で活動をしています。当事者中心の介護の視点を教えてくれたのは彼女たちです。

Leader
042

神奈川県

石田輝樹(いしだ・てるき)

株式会社リカバリータイムズ
代表取締役

あなたの最適な時間を 取り戻してほしい

理学療法士として病院から自宅に帰ってから安心してリハビリを続けられる施設を創ろう。どんな身体・環境・気持ちであってもその人らしい時間を取り戻してほしいと願い、事業を始めたのが介護のきっかけです。「環境で人はこれだけ変わるのか!」と感じられるような、社会復帰を含めた支援を行う経験をしています。今では働く人も自分らしい生き方を選べる地域にしようと決め、



これからも人が人を支える環境を考え、動き、提案し続けます。

Leader
043

神奈川県

勝村雄二(かつむら・ゆうじ)

株式会社クラーチ
クラーチ溝の口
副支配人

日々の積み重ねを「成長」「経験」として伝える

介護の世界に身を置いて20年になります。「継続は力なり」という言葉を実感する日々です。「もついいや」「無理だ、できない」と投げ出してしまふ事は簡単ですが、そこで踏ん張って乗り越え、日々の積み重ねがあったからこそ、「成長」「経験」として伝えられます。現場で一からやってきて、色々なことを積み上げてきた結果として、今の立場にいることができている自分だからこそ、



伝えられることがたくさんあるはずと思っています。

Leader
044

神奈川県

神田祐輔(かんだ・ゆうすけ)

社会福祉法人麗寿会
ふれあいの麗寿
リーダー

相手をよく知ることが 信頼関係につながる

利用者の望むケアをするには、「目に見える情報だけでなく相手の立場になり考えること」と先輩に教わり、忠実に実践してきました。そんなある日、花見の外出企画に参加したくないと言っていた方が、私となら行くと。理由を尋ねると「俺の事を良く知っていて、安心できるからだよ」と言われ、私の接し方は利用者との信頼関係にもつながっているのだと嬉しく思えました。今でもその時の



喜びが忘れられず、介護をする中でやりがいとなっています。

Leader
045

神奈川県

菅原健介(すがはら・けんすけ)

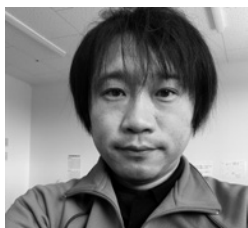
株式会社ぐるんとびー
代表取締役社長

幸せをもって生き続けられる 環境をつくりたい

「人がやりたいことを止めるのが医療や介護か!そんなならやめちまえー」。医療リスクが高いのでプーを止められていた方からの一言は、心のど真ん中にずっと輝いています。当たり前にあるはずの笑顔、小さな幸せをもって生き続けられる、何があってもそばにいてくれる、望みを叶えようと努力してくれる人がいる。そんな環境を創ろうと思いました。医療や介護をその一つの



ツールとして活用しているのが僕の原点になっています。

Leader
046

富山県

網繁樹(あみ・しげき)

社会福祉法人アルベン会
あしたねの森
在宅支援部マネージャー

心の動きに敏感に 生きるエネルギーを大切に

2005年10月に作業療法士で社会福祉法人夢のみずうみ村理事長の藤原茂先生と出会い、介護観が180度変わった。今までは「介護士＝利用者のお世話＝不快感を与えない＝利用者の負担をかけないで与えない＝満足してもらえない」ことが前提となり、利用者の非言語的サインを見極め、気を利用してサービスをする姿勢がベストと教えられていた。

夢のみずうみ村方式の理念の一つに、「自己選択、自己決定

がある。個々の利用者のさまざまなニーズに合わせて、利用者自

身が選択できるプログラムやアクティビティーの方法や心の動きに敏感になり、生きるエネルギーを感じることが大切という考え方に変化した。

当施設は、特養(定員29人)、通所介護(定員70人)、保育園(定員130人)が併設した世代交流型施設だ。90歳の通所介護利用者が、交流の際に子どもたちに手話を教え、卒園式には手話で「ふるさと」を歌った。そして「私の夢は小さい頃から先生になることでした。90歳になり、やっと夢が叶った」とうれしそうに話をされた。年齢に関係なく、自分の夢を追いかけている方の本当の意味での支援をどのようにしたらできるか、本気になって考えれば実現できることを伝えたい。

Leader
047

神奈川県

高橋 勇士(たかはし・ゆうし)

有限会社花企画
ホーム長

「初心忘るべからず」を大切に

私の介護のイロハや考え方、信念や理念の9割は、現法人の代表取締役より教えていただきました。この世界では最も尊敬する人物です。初めての排泄支援の際、男性である私が女性のご利用者の衣類を脱がす行為に抵抗があったのですが、後から代表取締役より、「その気持ちは常にもっていないとダメ」と教えられました。今となれば介護あるあるで介護者が欠落してしまう部分の一つ



ですが、本当に重要な気持ちであることを実感しています。

Leader
048

東京都

早川 雅彦(はやかわ・まさひこ)

社会福祉法人福音会
特別養護老人ホーム福音の家
主任ケアワーカー

エネルギーを与えられる人間になりたい

介護のことで悩んでいる時に仲間相談に乗ってもらい、たくさん知識やエネルギーをもらいました。今は私と同じように悩む仲間エネルギーを与えられるよう日々行動をしています。その一つとして自分が運営をしている医療介護義塾「まぢけあ」での活動をしています。職員の話す場所と勉強会を開催し研鑽し、イキイキ・キラキラできることが目的です。それらの活動が今まで



お世話になってきた人達への恩返しにもなると思っています。

Leader
049

神奈川県

茂木 香慧 (もぎ・かえ)

医療法人篠原湘南クリニック
介護付有料老人ホームクロバーガーデン

ご利用者の隣に座り お手伝いする存在

「私達のご利用者の車の助手席に乗っているんだよ」という先輩の言葉がとても印象に残っています。ご利用者はやりたいことがあっても、一人ではなかなか叶えることはできません。その時に、隣に座ってお手伝いをすればいいんだと、腑に落ちました。それからは談笑であつても真剣なお話であつても、目の前の方が何を求めて、何をしたいのかを考えて行動するように。申し送りなどでもきちんと書き、その方の希望を叶えていきたいです。



Leader
050

新潟県

皆川 敬 (みながわ・たかし)

株式会社メディカル・エージェンシー・ジャパン
代表取締役
介護福祉経営士1級

社会性と経済性の 両立を目指す

近隣の反対で新規施設案件を断念したことがあります。その後、今一度考え、我々がめざすのは「高齢者のお困りごと解決のワンストップサービス」であると戦略が明確になりました。コミュニティを支援、法人としての経済的価値も成り立たせる、「社会性」と「経済性」の両立に経営者として挑戦しています。まずは自身が明るく日々の経営に臨み、お客様、職員、そして業界、地元の人々に希望が持てるような生き方が出来ればと思っています。



Leader
051

長野県

三井 泉 (みつい・いずみ)

株式会社和が家
統括管理者

お年寄りに 「ありがとう」と伝えたい

母親が介護の仕事をされていて、お年寄と接する事が好きだったから私も始めました。はじめはお年寄から「ありがとう」の言葉を頂くことがやりがいに繋がっていました。ある時ふと「ありがとう」は気遣いをさせてしまっているのではと思い、逆に「ありがとう」の言葉を伝える介護がしたいと、気遣いをさせる前に気づき、伝えることが大切だと知りました。介護する側、される側ではなく、人として支えあいながら共に有りたいたいと思えます。



Leader
052

静岡県

設楽 和宏 (したら・かずひろ)

有限会社生陽会
にこやかハウス小鹿
介護リーダー

娘の進学を機に 介護業界へ転職

介護に注目するきっかけは、娘が特別養護老人ホームでの職場体験学習を機に、介護を学べる高校へ進学を決めたことです。そんな娘の姿から、介護に興味が湧いてきました。さらに、父親の体調がおもわしくない時期があり、ホテル業界から介護業界への転職を決意。初めは戸惑いでしたが、日々の業務の中で、楽しさや難しさとともに、自分の役割を実感でき、現在に至っています。今後も、介護の仕事を通じて、自分自身も成長していけたらと思っています。



Leader
053

三重県

別府 奈央 (べっぶ・なお)

社会福祉法人いとり福祉会
ケアハウス・在宅複合施設花袖
施設長「介護はサービスマン」
お世話ではない

大学卒業後は海外へ赴き、通関士になりたいと考えていました。その当時、介護事業を運営している父から「日本人として国際的に活躍したいのであれば日本の社会を経験していくべきだ」と言われました。

家業に入ることも介護という職業にも決心がつかないまま飛び込んだため、介護観を持つことすら私にとって非常に難しいものでした。しかし、偏った介護観やプライドを持つことがな



く、目に見るもの耳で聞くものをそのまま取り入れられ、結果として、介護業界

を何よりも面白いと思えるようになったのではないかと思います。

8年前、上司から「介護事業はサービスマンを提供してその対価をいただきたい。物を売る仕事でもなく見えていながら、これはサービスマンだ」と言われたことが印象的で、今でもその言葉を異業種からの転職職員や若手の新人職員に伝えていきます。

介護を「お世話」ではなく「サービス」と考えることで、「ご利用者様一人ひとりに喜んでいただけるサービスマンを提供したい心が芽生えるでしょう。」「してあげる」ではなく、「させていただく」「心も芽生えてくるだろうと考えます。優しい心や、人を思いやり愛しむ心を育てられる仕事であり、その気持ちを大切にしたいです。

Leader
054

愛知県

井上 卓 (いのうえ・たくる)

株式会社夢と希望の華
グループホームたなお
代表取締役 兼 グループホーム管理者理想の介護を
伝えるために上に立つ

祖父の介護をする両親を手伝いたいと思い、20年前に介護の専門学校に進みました。ところが実習では理想とかけ離れたケアが行われていて、こんなことのために資格を取りたくはないと、学校の恩師に退学を申し出たのです。すると、「そう思うなら、あなたが上に立ちおかしと思うところを変えていきなさい。働く中で流されるなら、思いはそれだけのこと」と言われました。その言葉をずっと胸に忘れ



ず、今は研修講師等人に伝える仕事に就いています。

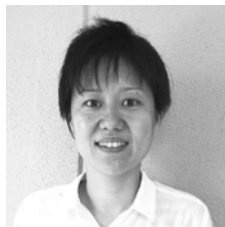
Leader
055

愛知県

岸野 有加里 (きのの・ゆかり)

株式会社マザーズ
事業推進部 部長自分らしく生きることを
支援できた

私の介護観を変えたのは、80代の糖尿病女性をお世話していた時のこと。食事などの制限が必要ですが、我々は「人生楽しく自分らしく」の理念にのっとり、本人の意向や意思を尊重したいと考えました。本人、ご家族、他職種で制限や管理をしないリスクを共有のうえ意向を尊重し、外出も意識的に増やしたことで大病を患うことなく90代で看取ることができました。自分らしく生きることが



を支援できたのは、私にとっても大きな出来事です。

Leader
056

愛知県

谷川一成（たにかわ・かずなり）

合同会社よかつた
よかつた工房生きがい作りデザイナーズ
代表社員

入所者の涙が 介護観の原点

かつて、心身障害者の入所施設に就職した私は、彼らを心のどこかで差別していたのか、ひどい支援をしていたようです。ある日先輩が「Aさんがお前と離れた後大声で泣いていた」と教えてくれました。その時、彼らは障害があるだけで同じ感情のある人間だと理解したと思います。必要な支援さえあれば、普通の生活が送れる。そういう世の中をつくらなければならないと真の意味で



気付かせてくれたAさんの涙は今でも私の介護観の原点です。

Leader
057

愛知県

萩森直紀（はぎもり・なおき）

社会福祉法人せんねん村
特別養護老人ホームせんねん村
介護福祉経営士1級
相談部 課長

ご家族からの「ありがとう」が 仕事の支え

私は学生時代に福祉といったものに全く興味がなく、初めの就職先も一般企業で車両販売の営業でした。営業で個人宅を一軒一軒まわっているうちに「何か人の役に立つ仕事はないかな」と考えるようになりました。その時、社会福祉士という資格を知り転職しました。施設では多くの経験をしましたが、看取りでその方の最期に関わることができ、ご家族から「ありがとうございました」と



感謝の言葉をいただく時は、この道に進んで良かったと思えます。

Leader
058

愛知県

和田恵美子（わだ えみこ）

株式会社波の女
滝子通一丁目福祉施設滝子通一丁目グループホーム
副施設長

「生かされている」ではなく 「生きていく」を尊重

介護の世界に入り約20年。永眠された方へ「最期まで生き抜きましたか」、私自身へ「最期まで生き抜く応援できたか」と問いかけています。ベッドから廊下や天井を見ている患者さんの姿。職員の業務に合わせ管理された日々。生きるとは何だろうと考えるようになりました。他人に管理された『生かされている姿』から『生きていく姿』になる為には目の前にいる一人ひとりには決定権があり、その機



会を安易に奪わないことが大切だと思っております。

Leader
059

三重県

服部昭博（はっとり・あきひろ）

社会福祉法人鈴鹿福祉会
特別養護老人ホーム鈴鹿グリーンホーム
施設長

ケアで心身が安定、 よくなることを知ってほしい

子どもの頃は、料理はまるで魔法のように思っていました。その料理で疾患が安定したり、よくなることを知って、栄養士、調理師の資格を取得しました。その後は、医療・介護のお仕事をするようになっていきます。今は、料理と同じく、ケアによってご利用者などの生活や心身の状態が安定したり、よくなることを皆さんに知ってほしいと思っています。



Leader
060

福井県

田歌 香織 (たうた・かおり)

社会福祉法人松寿会
松寿苑
介護副主任

現場で働く人材を 育てる環境とつながる役割

いろいろな経験を積み重ね、私の原点としてそこにあるもの。それは、介護士として育ててもらった環境の大切さです。自分がそうしてもらったように今度は後輩たちを大切に育てたい。

介護実習に来る学生に誠心誠意の指導を行い、実習を終え、介護士として現場に帰ってきてくれること。人材不足を問題とする介護の現場でも、このような繋がりが持てるのはその原点があるからこそだと思っています。現場で働く介護士を大切に育てることは、利用者への質の高いケアを提供することに直結しています。

今度はその後輩たちが、次に繋がる役割を担ってってくれることが私の願いであり目標です。

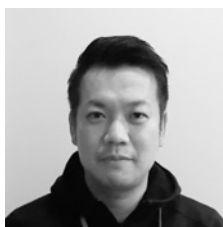
私の指導者は、常に人を楽しませることを考えている人でした。利用者も職員もみんなが笑顔に溢れていました。そんな介護士になりたいと思いました。

本当にたくさんのことを学びました。介護技術やさまざまな知識はもちろん、介護の楽しさや利用者との関わりから生まれるやりがいも教わりました。

Leader
061

三重県

東雄大 (あずま・ゆうた)

社会福祉法人明光会 伊賀事業部
伊賀事業部 統括

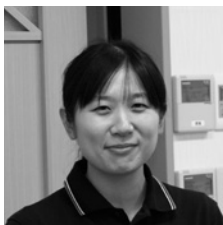
利用者様の思いを 引き出すのが私たちの介護

介護の世界で大切なのは、主体は利用者様であり、専門職は「自立支援に向けての手助け」という考えです。ですが、日常業務に追われ、職員の業務や効率優先が優先されやすい環境が多い印象です。当法人でも介護ソフトの導入やAIの活用を検討していますが、これは「利用者様に関われる時間を増やす」のが目的。限られた時間の中で多くの利用者様と関わり、利用者様の思いを引き出すことができないかが、AIにはできない私達の介護であると考えます。

Leader
062

滋賀県

藤田 菜美 (ふじた・なみ)

社会福祉法人達真会
特別養護老人ホーム けやきの社
ユニットリーダー

「笑顔で過」せる 手伝いがしたい」のが原点

高校2年の時に祖父が亡くなりました。お見舞いに行くとき病室でたくさんお話を聞かされて怖かったのを覚えています。何かできるはず、何とかしなければと思っても何もできず、悔しかったです。しかしその時に、人はもっと最後まで人として扱われるべきであると強く思い、祖父や祖母達がずっと笑顔で過ごせるように手伝っていきたくて思ったことが、私の原点です。今でも私と関わる方が笑顔で過せることを目標にしています。

Leader
063

兵庫県

荻野 亨(おぎの・とおる)

日の出医療福祉グループ法人本部
事業本部 本部長
介護福祉経営士2級

地域のなかで生活を支える 介護の価値と姿勢を学ぶ

2013年から、グループで小規模多機能の積極的な展開に取り組んでいます。そのなかで「地域の中で一人ひとりの思考がままの生活の実現に向け、自身も現場で地域密着事業サービスの評価項目に沿った支援に取り組んだことが、介護に対する考え方が深化する起点になりました。」

その人にとつての当たり前前の生活を知り、不足している部分を支援することの奥深さに感銘を受けました。

集団ケアでは、どうしても提供者の都合に合わせて、効率や職員主導のサービスになってしまいます。小多

集団ケアでは体験しえなかったこととして、「くなくなった」主人への思いを大切にされている方をお盆や彼岸にお墓参りに連れていくなど信仰への支援が行えたこと「認知症の方の畑仕事を継続できるように支援したこと」「自宅で最期を迎えたいという末期がんの男性に、ご家族や訪問診療、訪問看護と協働し、ご家族が仕事を休むことなく、自然な看取りの支援が行えたこと」があります。そのころから、地域の中で人の生活を支える介護サービスの価値やあるべき姿勢について深く考えるようになりました。



機では、個人の歴史や生活習慣、趣味、趣向、信仰等を幅広くアセスメントし、「地域の中で

「地域の中で

Leader
064

滋賀県

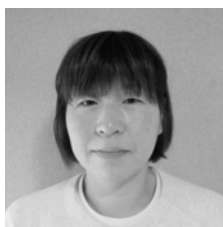
岩崎 ひろみ(いわさき・ひろみ)

社会福祉法人グロー
老人ホームながはま
生活支援員

看取りに関わることで 成長につながった

看取りに関わることが大きな成長につながっています。現場の中にある「気づきの目」や「思いやりの心」、

「真剣に考える時間」を積み重ねて学んだことは良い体験です。実際に、自分の親の時は、「生きている間に『あげたい』という気持ち溢れてくることに。家族と話し合い、支援して下さる皆さんに支えられて看取ることができました。介護の仕事は、利用者やご家族に寄り添いながら、たくさ



ら、たくさん多くの教えをいただけるやりのある仕事です。

Leader
065

大阪府

横川 考史(よこがわ・こうし)

株式会社シルバーエッジ
みのりグループホーム平野
施設長

三介護と並び 「楽しみ」も提供したい

特養に勤めていた時、三介護と楽しみがある生活の両立に難しさを感じていました。さまざまな取り組みを模索・実行しては定着にいたらなかったのです。そんな中、今の職場に勤務すると戦後生まれの方が多く、ますます個々の楽しむ生活の質

に引き合う機会が増え、絵本作家、書道家など専門家を雇用する流れになったのです。従来の介護スタッフと介護フリーター(造語です)が共にケアをすることで三介護と楽しみが並列になり始めました。



にケアをする

Leader
066

奈良県

山下 知恵 (やました・ちえ)

医療法人悠明会
介護老人保健施設ウエルケア悠
介護リーダー

介護の喜びや やりがいを伝えたい

以前は、ご利用者様の満足度UP
がやりがいでしたが、今は人を成長
させていく楽しみや喜びを感じてい
ます。「介護のプロ」という独自の教
育システムを使いながら、目配り・
気配り・心配りを忘れず部下を育て
ることで施設全体の質が上がり、ご
利用者様・ご家族様から「ここに来
てよかった。ありがとう」と褒め
いただき、介護の仕事が好きだと実
感します。これからも自己研鑽し介
護の喜びや
やりがいを
部下に伝え
ていきたい
と思います。

Leader
067

和歌山県

岡司 (おか・つかさ)

社会福祉法人黒潮園 特別養護老人ホーム黒潮園・
地域密着型特別養護老人ホームレル高森・デイサービスセンター悠久
理事長・施設長

介護は自信と誇りを持てる 輝かしい専門職

MY原点は『現場改革』。33歳の若
輩ながら法人代表・施設長として介
護現場に携わる機会を頂いたことが
介護のルーツです。以来、「介護職
の地位向上」にこだわり、現場の労
働環境や処遇を全面的に見直し、お
世話をするという経験則ではなく根
拠に基づく専門性に特化したケアの
確立に取り組んできました。介護の
仕事は自信と誇りを持てる輝かしい
専門職であるという「想い」を胸に、
職員皆で歩
んできた10
年の実績が
私の喜びと
誇りです。

Leader
068

岡山県

須々木 幹子 (すずき・みきこ)

株式会社アイリーフ
アイリーフデイサービスセンター西口
デイサービス管理者

利用者様・ご家族からの 言葉と笑顔が宝物

祖父の看病や付き添いが介護への
原点です。看護師さんの援助や支え
を感じ、お年寄りに関わる業種を選
びました。仕事の中で、特に老人保
健施設から自宅に復帰される利用者
様がりハビリをして、元気に歩いて
帰られた姿は忘れられません。ご本
人はもちろんご家族と元の生活が出
来る喜びを一緒に味わうことがで
き、嬉しくなります。私が笑顔で仕
事ができるのは家族の支えと、利用
者様やご家
族からの言
葉と笑顔が
あるから。
私の宝物の
一つです。

Leader
069

広島県

薄墨 邦明 (うすずみ・くにあき)

社会福祉法人尾道さつき会
デイサービスしまの風
管理者

諦めなければ 高いハードルもクリアできる

当法人では4年前から、地域貢献
の一環として住民主体の介護予防活
動「尾道あるこうカー」を開始しまし
た。現在は2地区で自主グループが
形成されています。当初は手探りの
中、不安と失敗の連続で諦めかけた
ことも何度もありましたが、仲間の
協力も得ながら軌道に乗せることが
できました。高いハードルも勇気を
もち飛び込んでいき、コツコツやれ
ばクリアできるということです。こ
のことを仕
事の仲間や
後輩にも自
信をもって
伝えていき
ます。

Leader
070

兵庫県

佐伯みか (さえき・みか)

株式会社ポラリス 研究開発部長
順天堂大学医学部非常勤講師

人間の根源的な欲求を満たす 「自立支援×AI・IoT」を

医療10年、施設介護10年を経て、今は、AI・IoTを活用した高齢者向け「自立支援アプリ・システム」をパナソニックと共同開発中。少子高齢人口減少、非生産性の社会的容認といった数多の課題が山積した日本のヘルスケアは、崩壊寸前。「心優しい従業員」が多いと言われる業界だが、現場では過酷な労働環境が立ちはだかり「心優しいまま」では居続けにくい現状がある。だから「人間でなくても



できること」は機械に任せ、人間でしかできないことのみを人間がやる現場、優しい

人が優しいままでいられる現場を創りたい。そのついでに他業界に比べ、共感能力を求められるホスピタリティやコーチングスキルが優れた専門家が圧倒的に多く育ち、集い活躍できる現場にしたい」と強く思った。最善の医療・介護を、善意・能力ある人達の犠牲の上にギリギリ成り立たせるのではなく、もっとしなやかに合理的に、安定的・持続的に、楽しさや喜びと共に実現できる社会環境を創りたいと心の底から思う。ヘルスケアが、

人間の根源的な欲求・願いを満たす方向へ更にシフトしていくために、自立支援システムがある世界を一刻も早く世界中で当たり前にしたい。2020年、その思いを最も早く叶えられる場所に私はしたい。

Leader
071

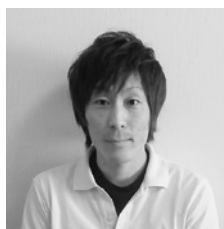
鳥取県

田中秀治 (たなか・しゅうじ)

社会福祉法人愛恵会
小規模多機能型居宅介護施設なの花主任

常に満足しないで 進化し続けたい

「人の役に立つ仕事」がしたくて、音響機器製造会社から転職しました。それから6年、介護の仕事は奥が深く落ち込むこともあります。利用者の皆さんの「笑顔」と「ありがとう」の一言に励まされています。「お一人おひとりに安心のサービスをお届ける」というなの花の理念にそって、常に満足せずに介護に向き合って、進化し続けたいと思っています。また、意見を言いやすい職場環境をつくることを心掛け、介護の改善につなげていきます。



場環境をつくることを心掛け、介護の改善につなげていきます。

Leader
072

山口県

岩本昌樹 (いわもと・まさき)

社会福祉法人くたま平成会 Asian Career 株式会社
Japan Care and Medical Co., Ltd.
理事長 代表取締役 介護福祉経営士級

地域との対話の中で 自己評価することが大切

二宮尊徳による「道徳なき経済は犯罪である。経済なき道徳は寝言である」という言葉。介護であれば、良いサービスをしているので利用者が少なくとも仕方がないとの意見をまねに耳にしますが、これは良いサービスが必ずしも提供できていないと私は考えています。営業地域のニーズをマーケティングし、それに応えるサービスを提供できていれば満足度は高く、ご利用者も多いはず。



自己満足ではなく、地域との対話の中で自己評価が大切です。

Leader
073

山口県

山本隆之(やまもと・たかゆき)

有限会社瀬戸内荘やまもと
グループホームみかん畑
施設長

夢をもち現実に
一歩でも近づきたい

周防大島はみかんの島で、高齢者が腰を曲げて段々畑を登って行く姿を見て生涯現役だなと感じました。同時に日常生活が一人でできなくなった時、何かお手伝いがたく介護を選びました。今元氣な自分ができる・めざすのは高齢者が安心して生活できるホームを作りお世話をさせていただきます。いろいろな理想的な介護を夢見っていますが、夢を持たないと現実にはならないと思います。これ

ます。これから夢を持ち一つでも現実に近づきたいと思います。

Leader
074

愛媛県

井川義伸(いがわ・よしお)

社会福祉法人恩賜財団済生会済生会にきたつ苑
居宅介護支援係長 管理者
一般社団法人愛媛県介護福祉士会会長

人生に寄り添い望む生活の
実現を黒子としてサポート

担当した利用者様が永眠され、家族からさまざまなことを教えていただいた際に、私は理解していたつもり、アセスメントを十分にとっていたつもりになっていたことに気づかされました。支援をする者として、「寄り添い」という言葉の多用はあまり好きではなく、簡単に使えない言葉だと考えます。それでも使うとなると、介護とはその人が歩んできた人生に少しでも寄り添い、現在とこれから望む

生活を実現するための黒子としてサポートすることだと思っています。

Leader
075

愛媛県

伊東丈気(いとう・たけき)

社会福祉法人潤和会
特別養護老人ホームなごみ
フロアリーダー

何十年ぶりの帰宅で
感じたことは

看取り介護となられたご利用者を何十年ぶりにご自宅にお連れすると、近所の方々が出てきてくださり、ご利用者が若い時に娘のように可愛がられていた女性もお見えになっていました。ご利用者もその女性も始めは気付かれませんが、話していると次第にお互いの記憶が蘇ったようです。近所の方々もご自宅に帰られたことに涙を流して喜んでくださいました。涙などみせたことのないご利用

者も、その時ばかりは涙を流し喜ばれていました。

Leader
076

香川県

三木陽次(みき・ようじ)

社会福祉法人さぬき
副主任介護員
玉藻荘

ともに過ごした入居者、
先輩・後輩が私の原点

戦前、戦後を生きて来られた方々は我慢強く、忍耐強い人たちです。そんな人たちに對し私たち専門職は、痛みや苦しみを誰よりも早く察知し取り除くことが求められます。職業人としては「あんたがいれば大丈夫」と言ってもらえるような関わりを大切にしています。短大を卒業して今働いている介護施設に飛び込んだから14年。他を知りません。今まで一緒に過ごした入居者、一緒に働いてきた

先輩や後輩達が私の原点であり、介護のルーツです。

Leader
077

京都府

片山 大海 (かたやま・ひろみ)

社会福祉法人リガール暮らしの架け橋
地域密着型総合ケアセンターきたおおじ
地域担当所長、サブマネージャー

気持ちを受け止めた介助 思いが通じた瞬間



私の介護観の原点はある利用者との関わりです。要介護5で自身では身体が動かせず、言葉によるコミュニケーションも取りにくい方で、全身のこわばり、筋緊張がかなり強く、衣類の脱ぎ着がとても難しい方でした。ある日の入浴支援中、浴後の脱衣室で介助中に気づいたことがありました。簡単に洋服を着ることができているのです。いつもより関節可動

域が広がっている、驚いた看護師が調べても異常はありません。

その時、本人は今まで見たこともない穏やかな表情でこちらを見ておられたのです。人に体を触られるのは嫌だ、怖い。そんな気持ちを受け止め、どう関わるかを考えながら介助させていただったので、少しでも伝わったのかもしれない、と思えた瞬間でした。「認知症の人」「要介護5の人」「介護する人、される人」。自分の思い込みや勘違いでその方への接し方が、ずれてしまうことがあります。当時の利用者との関わりは、私の今の介護観の原点であり、核になるものです。やりがい、喜びの思い出でもあり、常に自分を振り返る戒めでもあります。

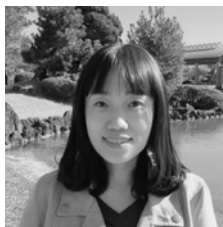
Leader
078

高知県

松木 裕子 (まつぎ・ゆうこ)

社会福祉法人秦ダイヤライフ福祉会
特別養護老人ホームあさみの里
看護リーダー

特養看護師の魅力 発信していきたい



特養看護師に求められるのは、予後予測から勘案して最善を提案・実行できる力。終末期の方向性を決断する際には、家族と一緒に悩んでは話し合うことを繰り返しました。今、当施設での入院による退所件数と看取り件数は逆転。ACPにも関わり、暮らしの場で自然な最期を望む利用者や家族の多さにも気づきました。「利用者も家族も地域もみんな嬉しい攻めの健康管理」と評価してもらえ

る機会もあり、特養看護師の魅力をもっと発信したいと思えます。

Leader
079

福岡県

浦濱 広太郎 (うらはま・こうたろう)

ブーラビダ株式会社
代表取締役

より良い生き方を 支援する自宅看護に働きがい



家族の介護負担によって社会的入院を余儀なくされている方や、自宅でなんとか介護しようと思つて頑張りすぎている方と出会ってきました。そうした中で、看護師として自分は何ができるのかを考えた結果、起業して訪問看護ステーションを設立する道を選びました。病院の看護とは違って、自宅での看護は、日常生活の中でいかにより良く生きていくかをコンサルティングする側面があり、働きがいを感じる醍醐味もあります。



座小田 孝安 (さこた・たかやす)

株式会社シダ
代表取締役

Leader
080

福岡県

自宅での生活を望む 方たちを支援したい

私が介護事業を始めたきっかけは、医療機関での勤務で訪問リハビリテーションに従事し、在宅医療に関わったからです。そこで出会ったさまざまな患者さんやご家族と接したことから、障害をもちながら在宅で生活を続けることの困難や、在宅生活を選択した本人やご家族の意思を尊重し、周りで支えていくことの大変さも学びました。そこで得られた経験が通所サービスやその後の施設サービスにつながるが、思っていたより難しいです。



岡元 奈央 (おかもと・なお)

NPO法人あやの里
副理事長

Leader
081

熊本県

介護は「本当の親子に 戻す仕事」

子どもの頃、ヘルパーをやっていた母に「お母さんの仕事ってどんな仕事？」と尋ねたことがあります。すると、母からは「本当の親子に戻す仕事よ」と返ってきました。その頃はピンときていませんでしたが、現職に就いて納得。時に介護は親子関係を破綻させてしまいます。ところが、介護のプロが介入し介護負担を軽減させると、改めて家族関係を復活させられる。プロとして大切にしている視点であり、大切にしている母からの言葉です。



与那覇 涼 (よなは・りょう)

NPO法人ライフサポートでたごサービス提供責任者
うらそえ介護福祉士会会長

Leader
082

沖縄県

介護はこれからの日本を 背負う素敵な仕事

以前、建築関係の仕事をしていた時は「このままでいいの？」と思いつつも、ダラダラと生活していました。そんな時に父から勧めで福沢諭吉の心訓7則読を読み、奉仕の仕事を生涯貫こうと思いつき、介護の世界に飛び込みました。介護の仕事は頑張っている皆様は、これからの日本を背負って立つ素敵な仕事をしていると思います。笑顔をやさしく楽しく胸を張ってほしいです。世の中で一番美しい事は、すべてのものに愛情を持つことです。



浅田 光 (あさだ・ひかる)

株式会社グレートフル
あけほし訪問介護事業所
介護事業部部長

Leader
083

埼玉県

住み慣れた地域で生活するため 『面の特養』をめざす

印象に残っているのは、多職種と連携し、独居高齢者が自分らしく自宅で最期を迎えたいという願いを叶えたことです。医療・福祉の壁はなく、お互いを信頼し、利用者様に真剣に取り組む姿勢があったから。今後、在宅での支援の必要性が高まるなかで、我々がめざすものは『面の特養』です。高齢者が住み慣れた地域で生活を維持していくために、連携が十分に図れた医療や介護を受けられる体制を築き上げるのが地域への貢献だと信じています。

Leader
084

千葉県

吉原 章公 (よしはら・あきまさ)

生活クラブ風の村
定期巡回ステーション高根台
主任

「相手の立場に立つ」ことが 個別支援につながる



短期入所を考える際、居心地の良い場所になっているのか、身をゆだねられる関係性になっているのか考える瞬間がありました。チーム会議の中で、利用者さんが抱えている不安や違和感を感じとるには、「相手の目線、立場になって考える」ことが大切だと気が付きました。そこからは、「個別支援を意識した介助を行うようになりました。サ高住、訪問介護、定期巡回の業務を通じ、「気づき、そして動くこと」は自分の支援の原点になっています。

Leader
085

長野県

藤岡 聡子 (ふじおか・さとこ)

株式会社Redo 代表取締役
診療所と大きな台所があるところほっちのロッヂ
共同代表

死は決して悲しいだけのもの ではないとの思いが原点



小学6年生の時に、内科医だった父親が他界しました。「亡くなって残念だね」などと声をかけられ、懸命に生きた人生について誰も教えてくれず、死が腫れ物として扱われることに違和感を抱きました。それが大きな原点となり、死は決して悲しいだけのものではないと信じ、人が生きてきた生活や文化を継いでいく、バトンを持つ側と受け取る側をつなぐということにつながる、場づくりに端を発した、介護、医療の現場に携わるようになってきました。

Leader
086

神奈川県

菅原 直敏 (すがわら・なおとし)

介護のハッピー合同会社
ピンポンデイハッピー渋谷
法人本部長兼CDO(最高デジタル責任者)

自分の知見の深さが 当事者の生き方を変える



介護の原点は、日本の先進的課題が凝縮されている現場を、官民双方に関わった知見を活かし、あらゆるアプローチを活用して変革すること。有料老人ホームで夜勤をしていた際に、利用者様が旅立たれる瞬間に立ち会った経験が一番心に残っています。常に多くの先輩方の終末にお付き合ひさせていただいている仕事なのだと思い直させられました。自分の知見の深さが、当事者が自分らしく生きることに大きな影響を与えることを痛感しています。

Leader
087

東京都

吉野 奈見子 (よしの・なみこ)

株式会社ありがたい
デイサービスありがたい池袋
管理者兼生活相談員

曾祖母の死が大きな転機に 介護のイメージを変える！



私が専門学校に入学し、介護について学び始め、デイサービスの存在を知り、94歳の曾祖母にはとても合っていると感じた矢先に、曾祖母は亡くなりました。もともと曾祖母のためにできたことがあり、自分らしく、楽しく自宅で過ごし最期を迎えることができただけではないか。そんな想いから、利用者様やその家族の想いを支援し、自宅で自分らしく全開で最期を!! をモットーに、介護の大変や暗いというイメージを変えることをめざしています。

Leader
088

愛媛県

乗松雄希(のりまつ・ゆうき)

社会福祉法人喜久寿
認知症対応型通所介護ウエルケア高浜
生活相談員

二度と来なかつた 「ありがとう、また明日」

デイサービスで働いていた時、ほぼ毎日来られていた男性のご利用者がありました。最初はなかなか話してもらえず、挨拶しても返事もしてくれませんでした。僕は相手の好きなこと、昔していた仕事、夢中になっていたことなど情報を集めて話しかけ続けました。すると少しずつ話をしてくれるようになりました。

入浴介助時は背中を洗わせていただき、自分の昔話をしてくれるまでになりました。

「お前に背中を洗ってもらったら気持ちええんよ」「ありがとう」「また明日

な」と言ってもらった時は介護の仕事をしていてよかつたなと心から思える瞬間でした。

ある日いつものように自宅までお送りし、「ありがとう、また明日背中を洗ってくれよ」と握手をして笑顔で別れました。

その夜……。体調が急変しお亡くなりになりました。握手をした手のぬくもりや背中を洗った感触、笑顔で「ありがとう、また明日」と言ったことを思い出して号泣しました。

明日という日が必ず来るとは限らないこと、一緒に食事をしたりお風呂に入ったりするのが最後になるかもしれないこと。だからこそ毎日心を込めてご利用者と向き合うことが大切だと学ぶことができました。

Leader
089

東京都

井手雄大(いで・かつひろ)

株式会社ありがたい
リハビリありがたい浦和
取締役社長

介護こそエンターテインメントが 必要な業界だ！

介護業界で働きながら、20歳からファッションモデルをしており、施設でファッションショーを実施したら、ご利用者が涙を流して喜んでくれました。介護業界こそエンターテインメントが必要だと思いい、ファッションショーを行うボランティア活動を開始しました。今の私たちが生きているのはお年寄りの皆さんが必死で生きてくださったから。そんな大切な未来を任せて良かったと思っていた

かっただけのよう
な生き方を
していきたい
です。

Leader
090

ベトナム

土橋壮之(つちはし・まさゆき)

Nhan Ailong term care
centers (ハノイ市)
介護福祉士

助けられている介護の仕事 助けられているように

大手TVCM会社で働いていましたが、志半ばでドロップアウト。誰も僕のことを必要としていないのではと、生きる気力を失っていた時にたどりついたのが介護です。私がいることでお年寄りのできることが増え、こんな僕が必要とされていると実感しました。お年寄りとの関わり、施設の文化的な行事を通じて、自分自身の人間らしさを取り戻せました。「助けられているように、助けられて

いる」、そんな介護の仕事が大好きです。

Leader
091

宮城県

内海裕 (うちみ・ゆたか)

社会福祉法人功寿会グループホーム桜の家
常務理事兼統括施設長
宮城県認知症グループホーム協議会 会長

限界のなかから 最善を尽くす大切さ

Hさん男性、アルツハイマー型認知症の方は、面倒見の良い方でしたが、認知症の進行に伴い、職員が目を見かね、退去を考えたことも。何の根拠もありませんが、「他の8名の入居者が退去しても、Hさんほうちで対応する」と言ったことを覚えています。寄り添い方などを見直していくにつれ様子も徐々に変わり、穏やかに過ごせるように。そして、当ホームで最期を迎えられました。限界の中からなら

に最善を尽くすことの大切さを学んだと思います。



Leader
092

神奈川県

大羽孝児 (おおば・こうじ)

株式会社あざみ野ヒルトン
訪問看護ステーションあざみ野ヒルトン居宅介護支援
主任介護支援専門員

曾祖母との思い出が 介護への一歩

小学生の頃、夏休みを曾祖母の家で過ごし、可愛がってもらいました。高校生の時に曾祖母が亡くなり葬儀の時に「自分は何も返していない」とに気づき、とても後悔しました。この出来事がきっかけで、高齢者に関わりたいと決めました。また、「あなたに会えたから、ここも悪くないし、独りじゃなくなった」とご入居者に言われたことも印象的です。その人を自分が覚えていること、思い出すこと

で、その人は生きていらっしやるのだと思います。



Leader
093

神奈川県

鈴木真 (すずき・まこと)

株式会社まことろう福祉事務所
小規模多機能型居宅介護まことさんち執行取締役 代表
公益社団法人神奈川県介護福祉士会 理事

仕事の評価は 会社ではなく患者

祖父の死後処置とともに体験した。この2人がいたからこそ、生きている自分は何ができるのかを考えるようになった。また、リハビリテーション目的で入院した80代のばあちゃんの後院後、家族アンケートに「鈴木真さんがいてくれたからこそ、母の今があります。隣で母もありがとうと言っています」とあった。がむしやらにしていた介護を認められた気がした。仕事の評価は、会社ではなく患者

(利用者)なんだ、全力で患者に向かおう、と思った。



Leader
094

東京都

糸魚川恒 (いとがわ・ひさし)

株式会社礎
執行役員

生き方や考え方の幅が 大きく広がった

1対多となるデイケアなどでは、自分のスキルや相手を思う気持ちがない、生活や人生を支える力になるという実感を得ました。また、多職種とチームで働くことで、考え方の違いや理学療法士のニーズ、社会的使命を感じる機会となっています。現場、業界を知る人間の一人として、介護業界の常識や慣例、課題などを可能な限り伝え、一人でも多くの高齢者の

の幸せにつながる事業の実現に貢献したいです。



Leader
095

大分県

大塚 恭平 (おおつか・きょうへい)

社会福祉法人みずほ厚生センター輝デイサービスセンター
管理者

本人だけでなく

家族の要望にも応えられた



れるし、本人の不安な気持ちを慮るとできるだけ要望に応えたいと思って対応を続けていた。すると「あなたに孫娘をもらってほしい」とまで言ってもらえるようになった。

時が経ち、認知症が進行したのかについては「私がおうし若かったら」と言うようになった頃に他界された。後日、「ご家族が挨拶に来た際、私のことを家でも話していたことで、嫌がることなく楽しく利用してもらえてありがたかった」といっていた。

この人ばかりに時間をかけ過ぎだと周りの職員から揶揄されることもあったが、私の対応で本人だけでなく家族の要望にも応えることができている、対応は間違っていたわけではなかったんだと、嬉しくなった。

特養勤務時代、ショートステイの利用者にAさんという全盲の女性がいた。こだわりの強い方で、頻回にナースコールで職員を呼び、一回の対応に30分はかかった。よく思わぬ職員が多く、Aさんの利用が決まると自分の夜勤と重なっているから職員は一喜一憂していた。

私は、本人はいつも対応が終わった後に「ありがと」と声をかけてく

Leader
096

千葉県

永井 周治 (ながい・しゅうじ)

社会福祉法人聖進會
特別養護老人ホームさわやか苑
事務長これから先の20年を
考える必要性を痛感

20年前に正規の介護職として入社した際、最初の月の初任給が手取りで13万円という金額で驚いた。実際にこなした現場の労働量と報酬の差が、現在よりも大きくかけ離れていたものであった。その当時すでに、介護業界が陥るであろう人材不足などの現在の状況は、国も経営者も十分に予測できたはずであったのに、そうした扱いだったのだ。そう考えると、制度のあり方などこれから先の20年を、



今私達も真剣に考えなくてはならないと思う。

Leader
097

埼玉県

今成 崇司 (いまなり・たかし)

有限会社福寿
法人本部 企画室室長
こみゆけあnet 代表人として支援することが
自身の幸せにもつながる

今まで頑張ってきた方に「頑張つて」と伝えることに疑問を感じ、デイサービスを立ち上げました。ここでは、認知症であっても自由に行える環境を大切にしています。認知症の問題と捉えられてしまいがちですが、周辺症状をよく理解することが必要と考え、周囲にも伝えていきます。「あなた自身がされてどう思うか」「認知症という言葉に惑わされず、人として支援する」ことで、皆さん



が楽しんで生活をしていく姿を見ることを幸せに感じています。

Leader
098
神奈川県

すがぬまけん

チーム改革研究所
所長
介護福祉経営士1級

入居者さんの生活は 入居者さんのためのもの



「入居者さんの生活は、誰のもの？ それらが、ボクを動かしている原動力。」

初めて介護主任となった施設で、組織の連携がバラバラに。まとめようと尽力するが、さらに混乱。そんな時、入居者さんが入院先で亡くなった。職員が「こういう時って、入居者さんに影響が出るんですよ」と言った。ボクは心の中で叫ぶ『そんなこと、あつてたまるか！』と。施設内のゴタゴタで入居者さんの生活に影響が出るのはおかしい。そんな施設をひとつでも減らしたい。入居者

Leader
099
東京都

板井佑介(いたい・ゆうすけ)

株式会社ケアメイト 代表取締役
一般社団法人民間事業者の質を高める
全国介護事業者協議会(民介協) 理事

経済力だけが幸せとは 限らないことに気づかされた



地域で、人に囲まれて活き活き生きる生活支援を行っています。

介護の仕事は「幸せとは何か」を考えさせられたという点で、私の価値観を大きく変えました。在宅ケアの現場では、富豪の方もいれば、生活保護の方もいます。貨幣価値が重要とされる社会においてこの幅の広い出会いは大変に貴重なことだと考えています。「活き活き最期まで生きる」現場では、必ずしも経済力≠幸せ、とは言い切れません。これからも、お家で、

Leader
100
神奈川県

山出貴宏(やまで・たかひろ)

株式会社NGU 生活維持向上倶楽部 代表取締役
認知症フレンドシップクラブ横浜事務局代表
横浜市多業種交流会 事務局長

「介護は辞めないでほしい」 利用者の言葉が独立を後押し



まっとうと言われ、本当の介護での関わりをしようとして独立を決意。

特養で働いていた時に、利用者に全く向き合えないことなどに悩み、介護自体を辞めようと思っていたところ、担当していたご利用者から悩みがあるのではと言われ、悩んでいる内容を告げた。すると、泣きながら「私はこの現状を見て人生を諦めた。だからここは辞めてもいいと思う。でもこの仕事は辞めないで欲しい。あなたが介護自体を辞めたら、私みたいな思いの方が増えてしまう」と言われ、本当の介護での関わりをしようとして独立を決意。

Leader
101
神奈川県

石川朝彦(いしかわ・ともひこ)

社会福祉法人敬愛
特別養護老人ホームけいあいの郷 影取 施設長
横浜市多業種交流会浜CHAN「会計監査」

想いに応えるには 知識や倫理観が大切



値・倫理観を身に付けて実践することは、今でも大切にしています。

入職直後に出会った男性は、脊椎を損傷し、前向きではありませんでした。その方の願いがトイレに行くことだったので、力ずくで連れて行きました。その後も、私の出勤のたびに同じ依頼があり、前向きになつてきたのを感じました。振り返ればただの自己満足ですが、目の前の人への想いに応えたいという気持ちと、それを実現するための知識や技術、その土台となる支援者としての価値・倫理観を身に付けて実践することは、今でも大切にしています。

Leader
102

沖縄県

徳盛裕元 (とくもり・ひろゆき)

すまいるサポート株式会社
代表取締役

誕生と死別を迎え 人生観を変えた日

私には、年の離れた障害をもつ弟がいましたが、私が26歳の時に他界しました。弟の他界を経て、「人が生きている」ということを深く考えるようになり、介護に対する考えが大きく変わったと思います。それまでは生活のための仕事でしたが、より専門職を意識するきっかけになったのです。さらに、もうひとつ大きな出来事が重なっていました。それは長男の

誕生。つまり私は、その日の朝に命の誕生、夜に死別を経験したのです。今振り返ると、自分の人生観がひっくり返るほどの大きな出来事でした。それから私は、いい意味で大きな成長ができたと思っています。命は必ず尽きます。その人生のなかで、喜怒哀楽もありますが、素敵な笑顔と出会う場面も必ずあります。「人が生きるを支える介護の仕事」は、とても魅力的だと思っし、これからも仲間達と頑張っていききたいと思っています。こんな私と「人が生きる」についていろいろ語り合っていたいた、たくさん仲間の仲間たちに感謝です。これからも、一所懸命一歩ずつ前に進んでいきたいと思っています。その先の目指すべき輝く目標に向かって。

Leader
103

埼玉県

平井貴明 (ひらい・たかあき)

株式会社クーン 代表取締役
はつねす事業協同組合 監事

介護常識と一般常識の 乖離をなくしたい

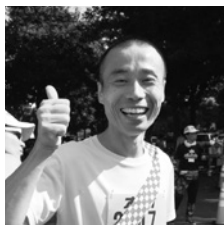
介護を意識したのは、高校生の時の認知症の祖母と同居したのがきっかけです。介護がかかわるようになった瞬間から、「助けて！」と叫んだり、拘束が行われてみるみるうちに弱っていく——そんな姿を眺めながら、何でこんなにづらい思いをして最期を迎えるのかと思っていたことを忘れずにいます。

ここから、介護常識と一般常識との乖離をなくし、誰もが安心して生活できる介護現場をつくらうと思いい、日々取り組んでいます。

Leader
104

宮崎県

石黒良一 (いしぐろ・りょういち)

NPO法人なまきみん家の家 住宅型有料老人ホームみん家の家
デイサービスみん家の家 ヘルパーステーションみん家の家
法人理事長

豊かな人の生の実現に 関わっていききたい

音楽療法の担当部署に配置された際に、山口県の「こども音楽センター」の中島正和先生、中島恵子先生から多くの学びを得ました。重度障がいのある対象者に対して、豊かな生の実現のため、真摯に向き合い続ける先生方の姿勢や技術・向上心などに触れ、自分も豊かな人の生の実現に関わりたと思いました。

また、看取りをさせていただいた利用者様やご家族からのたくさんの方の温かい言葉は仕事のモチベーションにもつながっています。

Leader
105

群馬県

石田 聡子 (いしだ・さとこ)

社会福祉法人和会
特別養護老人ホーム小泉の杜 施設長

生きる力を引き出した 教会への小旅行



のですが、友人が用意したプリンは1個完食。また誕生日に会おうと約束し、施設に。食事がとれず無口になり、寝ている時間も増えましたが、「また行こうね」と話すと笑顔になりました。その後2回、教会で誕生会をすることができました。

以前、終末期の方を教会に連れて行ったときの笑顔とその後の「生きる力」が忘れられません。死期が迫り、その方にできることを考えた際、クリスマスチャンであることを思い出し、通っていた教会へお連れしました。教会では昔からの仲間が出迎え、思い出話をし、記念写真を撮りました。施設では見たことのない笑顔を見せ、ほとんど食事も取れなかった

「教会で友人に会いたい」という本人の思いが生きる力になったと思います。ご利用者の生きる力を引き出すためにも、生活史を聞きとりあきらめないでチャレンジすることが大切。不安要素があるならどうすればクリアできるのか考えることで、介護という仕事の楽しさが実感できると思います。自分の予想した二、三と、ご利用者の願いとが合致した時はとても嬉しくて楽しいです。

Leader
106

千葉県

金井 貴之 (かない・たかゆき)

株式会社リハビリベト柏 柏訪問リハビリテーション
代表取締役・管理責任者
柏市在宅リハビリテーション連絡会 会長

できることは 後回しにはしない！

余命数カ月の癌の女性が「孫の音楽発表会に行きたい」とリハビリに取り組み、余命も1年以上超えたことがありますが。ただ「家族の不安が強」、発表会は翌年行くことに。その後、癌が再発してお亡くなりになり、希望を永遠に叶えられなくなりました。私達の仕事は、ご本人の希望を叶える仕事にもかかわらず、何もできず後悔だけが残ることに。できることは後回しにしない、亡くなる人にどう



寄り添って
いくか、を
学ばせてい
ただいた方
です。

Leader
107

北海道

菊池 翔 (きくち・しょう)

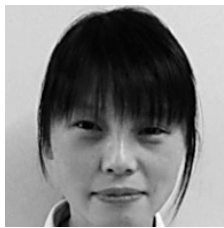
社会福祉法人石狩友愛福祉会
特別養護老人ホーム石狩希久の園
ケアリーダー

楽しみをもって生活が できるように支える

初めて居室担当を受け持った時の利用者さんが印象に残っています。朝が弱い方でしたが、私を孫のように「翔ちゃん」と可愛がってくださり、出勤している時は朝起きて少しご飯を食べてくれることが増え、他の職員より好まれていたからという理由で居室担当に。そこで初めて、自分だけにしかできないことがあると知り、嬉しく思った記憶があります。



もって生活
してもらえ
る様に努め
ています。



「ここにきてよかった」と思っていただけの方、関わり方をすると。

障害がある妹がおり、親が通院やリハビリに通う姿を見て福祉系の仕事に就こうと思った。介護士として働き始め半年、在宅に戻られた方がいた。自分達の関わり方によって在宅に戻る可能性を作ることができ、できなかったことができるようになる、その経過や瞬間に立ち会えることにやりがいを感じた。先輩に伝えたいこと、大事にしていることは、利用される方が「ここにきてよかった」と

Leader
108

静岡県

原木 加奈 (はらき・かな)

医療法人社団秀慈会
修養課 主任補佐
介護老人保健施設秋の里



ビスを心がけるきっかけになりました。

訪問入浴に従事していた時にターミナルの御利用者様の対応で、入浴した翌日に亡くなられたのですが……。御家族様から、「最期に綺麗にしてくれて、ありがとございます」とのお言葉を涙ながらに伝えられたこと。亡くなる直前まで、お風呂が来てくれるとの声かけに、ニッコリと喜ばれて楽しみにされていたとお聞きし、常に全力で喜んでもらえるサービス

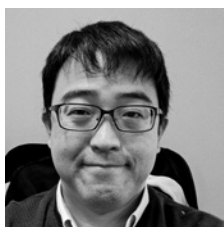
Leader
109

兵庫県

前田 智基 (まえだ・ともき)

株式会社誠和
代表取締役
デイサービス夢楽人

「最期に綺麗にしてくれて」



などを自分の信念として持ち、スツッフへ伝えていきます。

介護の世界に入って18年、さまざまな高齢者・障害をお持ちの方々のケアに携わらせていただきました。紙切れの情報だけで判断することなく、その方として何が必要かを判断すること。みんな同じの画一的なケアではなく、その方々で個別的なケアを考へることが大切だと思えます。障害の程度に関わらず、まずは対応してみたら物事を判断すること

Leader
110

大阪府

都築 歩 (つづき・あゆむ)

株式会社第歩
代表取締役

まずは関わってみてから判断を



観はこの出来事に起因しています。

以前、社会的入院や身寄りのない高齢者の自立支援サポートをしていました。ある時、部下が泣きながら「あのおじいちゃんが可哀想」。息子様と娘様が菓子折りと10万円を手渡し、「今後一切連絡は不要。葬式もそちらに任せる」と伝えられました。私はこの時、身寄りのある方の実情にも深い問題があると感じました。弊社が大事にしている『誰かを支えるあなたの事を支えます』という価値

Leader
111

大阪府

白崎 剛士 (しろさき・たかし)

日本福祉サービス株式会社
代表取締役

本人と周りの人のサポートも大事

Leader
112

群馬県

砂賀裕一 (すなが・ゆういち)

株式会社 Precious
代表取締役 生活相談員
デイハウスみかんの花

退職中の祖父の看病で 天職にめぐりあう

24歳の時、ダンボール会社に勤めていた頃がありました。ある日、印刷機のロールの清掃中、右手を巻き込まれ――。大けがを負って手術を

るからと、20時頃に病院に行き、朝の10時頃まで病院に泊まるという日々を3カ月続けました。

繰り返し、仕事を休んでリハビリに励んだのですが、術後の経過が良くなく、再手術のため再び半年ほどの休暇に入る時、祖父が急性膵炎のため入院することに。その半年ほど前に祖母が他界し、それから様子が変わり、認知症状も進みました。病院側から「もし家族が誰も泊まれない

仕事に復帰する日が近づき病院のソーシャルワーカーに相談すると、「家族が夜泊まるしか解決策はない」と言われ、疑問を抱きました。今後について話し合っていた矢先に、おじいちゃんはこの世を去りました。



れば、当院ではお預かりできません」と言われまして。ならば労災で休んでい

私は最後におじいちゃんに最高の恩返しができたと、胸を張って言えます。後悔はなく、自分のできることは、精一杯できたと思います。そしてこの経験で、福祉の仕事に就きたいと強く思いました。何よりも仕事の終わった後の充実感は、今までいろいろな職種に就いてきましたが、これが天職だと実感しています。

Leader
113

大阪府

百田真也 (ひゃくた・しんや)

社会福祉法人池田さつき会
お客様相談室課長

どういう声かけが 正解だったのか

初めて管理者としてお看取りの方のカンファレンスをした時のこと。延命に関して本人様に代わりご家族様が決断しなければならぬ場合で、なかなか決断できず涙している姿に、何も声をかけることができません。10年以上も前のことですが、今でも心に残っております。

どういう声かけが正解だったのか、未だに答えは見つかっていません。しかし相談員として、たくさんの方の悩みや想いを聞き、その経験や想いをお客様に伝えることで、選択肢が増えると思っております。そして、あの時のようなカンファレンスがなくなると信じながら、これからも従事したいと思えます。

Leader
114

大阪府

石原陸裕 (いしはら・たかひろ)

株式会社あいます
代表取締役

1泊2日の プロ野球観戦の旅

介護業界に入る前、脳性麻痺の方とプロ野球観戦に一緒に出かけることに。彼は電動車いすを使いほぼ全介助でした。私は介護の資格も介護技術もなく、1泊2日の旅は楽しむどころではありません。何とか彼の指示通りに介助して旅が終わって、彼は普通に挨拶しただけでしたが、それが凄く新鮮で感動しました。人のサポートなどがあれば普通に生活できる。それを知り、たくさんの方の障害を持つ方の生活を支え



生活を支えたくて介護の仕事本格的にするようになりまして。

東京
開催

第6回 国際介護用品展／介護施設産業展／介護施設ソリューション展

ケアテックス2020

介護業界最大級！業界のプロのための展示会

展示会招待券の申込(無料)、
出展社一覧・専門セミナー
の詳細は
caretex.jp

会期

2020年
2月12日(水)～14日(金)
9:30～17:00 [受付開始 9:00]

会場 東京ビッグサイト

主催 ブティックス(株)

問合せ先: CareTEX 事務局
TEL: 03-6303-9801業界を知り、イロハを学んだ
超アナログな就職活動キョク、ライフケアサービス株式会社
取締役 施設介護事業部長
介護福祉経営士1級

原澤 良 (はらさわ・りょう)

Leader
115

東京都

介護保険制度が施行された2000年、介護福祉領域を志して就職活動をはじめた頃のこと。図書館で職

情報誌を
何冊も借
り、「介護」
のページに
載っている
企業に1

日数百件電話をかけ、①社会福祉系大新卒、②ヘルパー2級保有、③未経験男性、という条件で面接してくれる会社を探しました。結果、面接は50数社、そのうち内定は20社程度。面接の過程で業界の仕組みを知れました。結局、家政婦紹介所から介護保険事業へ移行した下町の老舗介護事業所に就職、ここで私の原点でもある「介護のイロハ」を学びました。

現在、介護業界は人手不足や高齢職率などと言われていますが、私のようなアナログな就職活動をする人はどのくらいいるでしょうか。求職者と企業とのマッチングはとも奥が深いと、現在身をもって感じています。がむしやらに行ったあの就職活動は、我ながらすごいと思いますが、今の自分自身の原動力です。



岡野 真矢 (おかの・しんや)

Leader
116

三重県

有限会社ひまわりグループホームひまわり
管理者兼計画作成担当者まず自分と向き合い
答えを探し続けること

介護を始めて数年、仕事は楽しいのですが、翌年の介護福祉士国家試験の勉強もやる気が出なかった時、

ある講演
に行きまし
た。当時、
認知症の入
居者さんと
の関わりの

なかで、いろいろと迷っていました。しかしその講演では、自分のやり方は間違っていないと答えをくれたのです。「その時々で答えは出るけれども、答えを探し続けることが大切」だと。

衝撃的でした。翌日からさらに仕事を楽しくなり、試験も無事に合格。時を経てあの講演で感じたことを自分なりに大切にするものの、講師の名前は憶えておらず……。ある日のテレビ番組で和田行男さんとわかりました。番組最後の言葉が「自問自答していく人、自分のやっていることに問題を感じて、正解までは行かなくても答えを出していく、それを持続けられるのがプロ」。あの時の衝撃が甦りました。相手と向き合うには、まずは自分自身と向き合う姿勢が大切。これが私の原点です。